

平成19年度実施事業 事業評価シート

事業名:	高齢者クラブ運営事業交付金	2-25
・運営の方法(1:直営, 2:民間委託, 3:補助, 4:その他)	複数回答可	3
・事務の分類(1:自治事務, 2:法定受託事務)		1

担当部課	保健福祉部高齢者支援課	直通電話	72-6121
担当部長	鎌田 英暢	担当課長	沢田 茂明
		担当者	大浦 正美

1 事業のアウトライン			
(1)事業概要及び交付金額等の積算根拠	単位クラブの育成と連絡調整・高齢者福祉行政の普及啓発など地域化委員の福祉増進を促進する高齢者クラブ連合会及び単位クラブに対し運営費の一部を交付する。		
(2)事業開始年度	平成17年度	(3)事業終了年度	未定
(4)総合計画での事業体系	テーマ等	2 健康であわせに暮らすまち	
	施策項目(大)	(2)高齢者福祉の充実	
	施策項目(小)	社会参加の促進	
	施策コード	20202	

2 事業の内容	
(1)事業の目的 何のために	地域で加入する高齢者クラブの活動を活性化し、高齢期の生活を健全で豊かなものにするを目的とする。
(2)目指す成果 何をどんな状態にする(何がどんな状態になる)ように	高齢者クラブの活動を助長する。
(3)事業の方法 どんな手段を講じるのか	高齢者クラブ連合会には定額、単位クラブに対しては連合会を通じ、定額+人数割り額の交付金を交付する。
(4)19年度に改善した事項、重点的に取り組んだ事項	
(5)事業の背景・社会状況・他の類似事業など	高齢者クラブの育成は、国の施策項目にも位置付けられ、全道(全国)の各自治体もその活動を支援している。
(6)事業の立案や実施における協働の視点	

3 事業に投入した行政資源				
区 分	H17	H18	H19	H20 予算
(1)直接事業費(千円)	4,630	5,596	4,744	4,370
(2)その他の間接経費(千円)	0	0	0	0
(3)従事正職員の人件費(千円)	518	1,243	1,346	1,346
総事業費((1)~(3)の合計:千円)	5,148	6,839	6,090	6,090
事務に従事した正職員延べ人数	0.06	0.15	0.15	0.15

4 交付団体の予算・決算 (単位:千円・%)											
収	区分	H17	H18	H19	H20 予算	支	区分	H17	H18	H19	H20 予算
	市補助金等(A)	4,630	5,596	4,744	4,370		運営事業費	5,907	7,107	6,194	5,714
	連合会負担金	1,313	1,538	1,450	1,344						
入	計(B)	5,943	7,134	6,194	5,714	出	計	5,907	7,107	6,194	5,714
	(A/B)	77.9	78.4	76.6	76.5						

5 事業活動の結果 (単位:千円・%)					
活動指標名		H17	H18	H19	H20
総会員数(人)	目標値	未設定	未設定	未設定	未設定
	実績値	2,643	3,066	2,833	2,833
	達成率	-	-	-	-
単位クラブ数(クラブ)	目標値	未設定	未設定	未設定	未設定
	実績値	31	45	45	45
	達成率	-	-	-	-
	目標値				
	実績値				
	達成率				

6 事業の成果		(単位:千円・%)			
成果指標名		H17	H18	H19	H20
高齢者クラブ会員加入数(人) 目標値は60歳以上人口の2割	目標値	3,157	3,270	3,426	3,494
	実績値	2,643	3,066	2,833	
	達成率	83.7	93.8	82.7	
	目標値				
	実績値				
	達成率				
	目標値				
	実績値				
	達成率				

7 事業の観点別評価		担当課長が評価します。	
(1) 必要性		(4) 有効性	
ア 市民ニーズ	1 大きい 2 普通 3 小さい	2	ア 施策との関連
社会経済情勢の変化に対する市民ニーズはどうか			1 密接な関連がある 2 関連がある 3 関連はほとんどない
イ 市の関与	1 行政にしかできない 2 民間等でもできる 3 民間等でやるべき	1	イ 成果
その事業に市が関与する必要があるかどうか			1 すべて達成している 2 一部達成している 3 達成していない
(2) 効率性			ウ 事業内容
ア コスト削減	1 不可能である 2 難しい 3 可能である	3	1 極めて妥当 2 一定の妥当性あり 3 妥当性が低い
コスト削減は可能か			
(3) 公平性			(1)~(4)の評価ポイント合計
ア 受益者負担	1 不可能である 2 難しい 3 可能である	3	総合評価の参考にしてください。
さらなる受益者負担は可能か			7~11 A or B 12~15 B or C 16~21 D or E
			16

8 課長評価		担当課長が評価します。	
(1) 平成19年度事業の総合評価		高齢者が増加している中、地域福祉・地域活動活性化の担い手としての高齢者クラブ活動は重要であるが、高齢者クラブ会員加入率も伸び悩んでいることから、加入促進に向けた取り組みが必要である。	
D	評点の意味 (A:極めて良好、B:良好、C:可も不可もない、D:問題がある、E:大きな問題がある)		
(2) 今後の方向性・課題		従来の組織運営に止まらない新たな社会活動・地域活動の担い手としてその経験や知識を活かすことのできる高齢者クラブへの転換が必要である。	
(3) 平成21年度の方向性			
*:担当課長	事業内容		
	現状維持	一部見直し	大幅見直し
事業規模	拡大方向		
	現状維持		
	縮小方向	*	
	統合		
	休・廃止		
交付基準の引き下げを行っていく			

↓ ここまで担当課長が記載した上で、パブリックコメントを実施し、市民意見を募集します。

9 課長評価に対する市民意見

10 部長(市長)評価		課長評価に対する市民意見を踏まえて、部長職(もしくは市長)が評価します。	
(1) 平成19年度事業の総合評価		加入率が伸び悩んでいるが、高齢化が顕著に進む中、地域での担い手としての高齢者クラブは一定の役割を果たしている。	
C	評点の意味 (A:極めて良好、B:良好、C:可も不可もない、D:問題がある、E:大きな問題がある)		
(2) 今後の方向性・課題		従来の活動だけでは会員数の増加も見込めないことから、多様な考え方に基づく新しい高齢者像としての意識の向上が必要であり、培われた経験と知識を活かし、地域の担い手として活動できる環境づくりなどを検討する。	
(3) 平成21年度の方向性			
:担当部長(もしくは市長)	事業内容		
	現状維持	一部見直し	大幅見直し
事業規模	拡大方向		
	現状維持		
	縮小方向		
	統合		
	休・廃止		
国の交付基準を上回る額の引き下げを行う。			